

PCR 法(動物由来 DNA 検査)

1 動物由来DNA検査

飼料分析基準に準拠し、PCR法により哺乳動物、反すう動物、牛、豚、家きん及び魚類由来のDNAを測定する定性試験です。

2 検査結果

「陽性」または「陰性」としてご報告します。定量試験ではありませんので数値は得られません。

なお、検査結果はご提供いただいた検体についての結果となりますので、当該検体の母集団を保証するものではありません。

3 検体必要量

500 g以上をご用意ください。

なお、複数の検査対象について検査をご依頼いただく場合も上記の検体量にて検査が可能です。

5 検査に影響を及ぼす成分

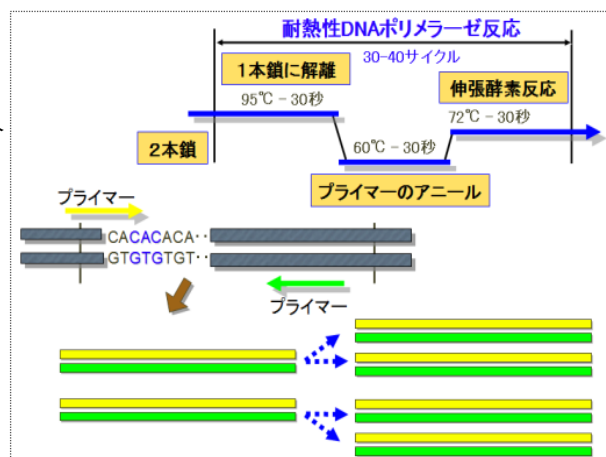
検体中にDNA抽出やPCRを阻害する物質が含まれる場合、分析不能となることがあります。検査結果に影響を与える物質は多種存在しますが、すべての物質が明らかにされているわけではありませんので、ご依頼をいただいた段階で検査結果(分析不能)を予測することは出来ません。

「分析不能」となった場合、規定の検査料金の代わりに、操作料として25,000円を申し受けます。

6 PCR法の一般的な原理

PCRは、Polymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連鎖反応)の頭文字を取った略称です。対象DNAのある一部分を選択的に増幅します。増幅させたDNAを電気泳動により分離して、その泳動像から判定を行います。

- ① 熱変性により二本鎖 DNA を一本鎖に分離
↓
- ② プライマー(人工的に合成した一本鎖 DNA)を結合
↓
- ③ 相補的な塩基配列が複製
↓
- ④ ①～③を繰り返す, DNA を増幅
↓
- ⑤ 増幅した DNA を電気泳動により分離
↓
- ⑥ 得られた泳動像から対象 DNA のバンドを確認



以 上